

高次脳機能障害講演会

医療と連携、 リハビリから就労へ


2018年 11月4日[日] 午後1時～4時

大阪YMCA会館・ホール 大阪市西区土佐堀1-5-6 (電話06-6441-0893)

■定員 / 300人(先着順) ■参加費 / 1人 1,000円(当日会場で)

主催 社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団

後援 NPO法人 日本脳外傷友の会 / 頭部外傷や病気による後遺症をもつ若者と家族の会 / NPO法人 大阪脳損傷者サポートセンター
堺脳損傷協会 / 豊中脳損傷家族会「アンダンテ」 / 公益財団法人 大同生命厚生事業団



高次脳機能障害の人たちにとって、医療と福祉の連携は不可欠です。

高次脳機能障害の原因となる脳卒中になったり、交通事故などに遭ったりすると、多くの場合救急病院に搬送され治療を受け、容体が安定したらリハビリ病院に転院し、退院後も日常の中でリハビリを続けることになります。

さらに就労に向けた訓練と、途切れることのない支援が必要です。

地域の中で、医療と福祉がどのように連携し、リハビリから就労へつないでいくのかを探ります。